

令和7年度 臨床研修修了証書授与式・授賞式を開催しました

3/13（金）にシスメックスホールにて、令和7年度臨床研修修了証書授与式および授賞式を開催しました。2年間の初期臨床研修を修了した65名の研修医へ修了証書が授与され、新たな門出を祝福いたしました。ご参列いただいた皆さまに御礼申し上げます。また、受賞をされた皆さまより受賞コメントをいただきましたのでご紹介いたします。

研修医瓦版

3月・4月
増刊号

発行
神戸大学医学部附属病院
総合臨床教育センター



ベストレジデント賞

2年目一般コース HILMAN ZULKIFLI AMIN先生

この度は、ベストレジデント賞にご選出いただき、大変光栄に思います。ありがとうございます。この研修の生活を振り返ると、うまくいったことよりも、悩んだり迷ったりした時間の方が多かったように思います。しかしその度に、指導医の先生方や看護師・コメディカルの皆さま、そして同期の仲間に支えられ、ここまで来ることができました。患者さんに信頼される医師を目指してこれからも努力してまいります。ありがとうございました。



2年目たすきがけコース 岡本 百合奈先生

この度は、ベストレジデント賞にご選出頂き、ありがとうございます。日々ご指導くださった上級医の先生方、支えてくださった看護師・コメディカルの方々、そして素敵な同期に恵まれ、たくさんの学びを得て成長することができました。心より感謝申し上げます。この2年間学んだことを糧に、今後も初心を忘れず医師として成長し続けられるよう努力して参りたいと思います。



2年目たすきがけコース 椿 遥花先生

この度は、ベストレジデント賞に選出いただき、ありがとうございます。研修を支えてくださった指導医の先生方、スタッフの皆様、そして同期の仲間に心より感謝申し上げます。神戸大学プログラムで医師としてのスタートをきり、研修を通して多くの出会いにも恵まれました。振り返れば、良い思い出だけではなく、苦しい経験も多々ありましたが、この2年間があり今の私があると感じます。一人でも多くの患者さんのために、今後も懸命に医療と向き合いたいと思います。



1年目一般コース 沼 知里先生

このたびはベストレジデント賞を賜り、身に余る光栄に存じます。ときに熱心にときに温かく、何度間違っても根気強く、ご指導いただきました先生方やコメディカルの皆様、ご支援いただきましたスタッフの皆様、模範になっていただきました2年目研修医の先生方、そして、いつも励ましてくれる同期のおかげと、心より感謝申し上げます。少しでもお役に立てますよう、引き続き精進して参ります。ご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。



ベストティーチャー賞



救命救急科 山田 勇先生

研修医の皆さん、神戸大学での研修お疲れ様でした。これからも医師としての研鑽は一生続くとは思いますが、今回の研修医修了式は単なる通過点に過ぎません。自身が考えている以上に医師としての時間は短く、また自分の思い描いた理想やゴールとはかけ離れる場合もあるかと思いますが、どんな結果となろうとも自己嫌悪に陥ったり悲観することは必要ありません。その時は神戸大学での研修を思い出して下さい、頑張った自分を思い出して下さい。また何処かで一緒に困難に立ち向かう事が出来ればうれしいです。



放射線診断・IVR科 神田 知紀先生

研修医の皆様、初期研修終了おめでとうございます。放射線科で研修された先生方は、当科の業務をいろいろ手伝っていただきありがとうございました。先生方のおかげで業務に余裕ができ、教える時間をとることが出来ました。初期研修を終わられて、今後はそれぞれの専門分野に進むかと思いますが、画像診断は今後多くの科が関わるとおもいます。画像で何か困ったことがあれば、気軽にコンサルトしていただければと思いますので、今後ともよろしくお願いたします。



総合内科 乙井 一典先生

研修医の皆さん、初期研修プログラムの修了、おめでとうございます。この度は名誉な賞を頂き有難うございました。医師人生の最初の2,3年は、どの診療科でも必要な「医師の基礎体力」となる知識・技術の習得だけでなく、医師としての心構え・取り組み方などを形成する重要な期間であり、その期間の皆さんのレベルアップの一助になればと思い取り組んでいます。成長した皆さんと、またどこかで一緒に働く日が来ることを楽しみにしております。



救命救急科 大島 拓先生

研修医の皆さん、研修修了おめでとうございます。共に救急診療の最前線に立ち、現場を盛り立ててくれた皆さんから「ベストティーチャー」に選出いただき、大変光栄に思います。これから皆さんはそれぞれの専門医の道へと歩み出されます。どの領域へ進んでも、救急対応や急変への判断を迫られる場面があるでしょう。そんな時、救命救急科での経験が、皆さんを支える「自信」の一助となれば幸いです。判断に迷うことや、困難な症例に直面した時は、いつでも私や救命救急科のスタッフを頼ってください。皆さんとまた、それぞれの分野の専門医として、現場で再会できる日を楽しみにしています。新天地でのさらなるご活躍を心より応援しています。



ベスト病棟賞



5階南病棟

研修医の皆さま、初期研修プログラムの修了おめでとうございます。また、この度は5階南病棟をベスト病棟に選んでいただきありがとうございます。5階南病棟は救命救急科や形成外科、整形外科の混合病棟であり、安心・安全な医療の提供のため、各診療科の先生方とコミュニケーションをとりながらチームとして協働できるよう取り組んでいます。皆さまはこれから専門領域でさらに多くの経験を積まれることと思います。皆さまの益々のご活躍をお祈り申し上げます。（出嶋 由佳看護師長）



4階南病棟

研修医の皆様、初期研修の修了おめでとうございます。当部署をベスト病棟賞に選出いただきありがとうございます。小児医療センターでは、乳児期から思春期までさまざまな成長発達段階にある子どもたちが、治療を受けながら日々の生活を送っています。多職種が連携し、安心して療養できる、安全で質の高い医療の提供を目指し取り組んでいます。今回の受賞は、皆様と協働することで得た成果であり、スタッフ一同、大きな励みとなっております。研修医の皆様の今後のご活躍を心よりお祈り申し上げます。（浅田 つかさ看護師長）



ベストレクチャー賞

総合内科 合田 建先生

この度はベストレクチャー賞に選んでいただきありがとうございます。どの診療科にすすんでもプレゼンテーションやカルテ記載は重要になります。日々の診療の中で、「型」を意識すると、診療のレベルアップにつながると思います。ぜひ、日々レベルアップして、いずれEducatorとして、皆様の得意な領域を周囲の人々に伝えていただければと思います。



糖尿病・内分泌内科 山田 倫子先生

この度はベストレクチャー賞を頂き、誠にありがとうございます。大変光栄に思います。糖尿病患者はどの診療科に進んでも必ず出会うため、少しでも日々の診療に役立つ知識をお伝えできればと思い、本講義を作成いたしました。今後どの診療科に進まれても、それぞれの現場で経験を積みながら、ご自身の強みを大切にしてご活躍されることを心より願っております。



膠原病リウマチ内科 上田 洋先生

この度はベストレクチャー賞に選出いただき大変光栄に存じます。近年、「グルココルチコイド（GC）」という表記が好まれますが、「ステロイド」の使い方や副作用対策についてお話させていただきました。ステロイドは、医学が発達した現代においてもなお必須の薬剤であり、医師の力量が最も問われる薬剤の一つです。さらに理解を深めたい方は、ぜひ膠原病リウマチ内科で実際のマネジメントを経験してみてください。



※当日は代理で三枝先生がご出席

サンクス診療科

総合内科

研修医の皆さん、副直でもお世話になりましたが、2年間お疲れ様でした。この度はこのような賞に当科を選出頂き有難うございました。ただ当科は、各科からの派遣医師との混成チームのため、内科全体に頂いた賞と思っております。当科で研修する中で、患者全体を診る「全人医療」を意識した診療ができる医師になってもらえたらと思っています。成長した皆さんとまた一緒に働く日が来ることを楽しみにしております。（乙井 一典先生）



放射線科・IVR科

初期研修医の先生方、研修終了おめでとうございます。また、この度、「サンクス診療科」に選出いただき、大変光栄に思います。放射線科画像は、どの診療科に進んでも診療と切り離すことはできません。研修中の学びや気づきはこれから先、必ず皆様を助けてくれると思います。当科で得た知識や経験、自分なりに考え抜いた時間を大切に、それぞれの道で医師としての人生を歩んでってください。当科一同、皆様の今後のご活躍を心から期待しています。（神田 知紀先生）



研修医の皆さん、研修修了おめでとうございます！
益々のご活躍をお祈りいたします。

